

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	不適切な声掛けやケアに対する認識が業務経験や性格等でバラつきがある。ユニットケアの特性上、職員が一人や二人で業務を行っているため、不適切ケアが修正されないままになる可能性がある。	はちもりのケアを標準化し、職員一人ひとりが何が不適切なのかが分かり、統一したケアが行える。	ケアの標準化に向けて、事例集を作成し職員研修と現場での評価体制を構築する。	6ヶ月
2	49	外出がどうしても、場当たり的に行われる傾向があり、外出する月と行かない月にバラつきがある。	定期的に外出できる。突発的に外出できるようないときも、速やかに企画と計画を作成し外出できるようにする。	年間計画を作成する。日々入居者の「外出したい」という要望を聞き取り、速やかに企画し計画的に外出できるよう職員の意識付けを行う。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。